

「エアビーアンドビー」時代を生き延びる ホスピタリティ業を考える

「モブ・ホテル」創業者・CEO
シリル・アイウゼラット氏

アーバンホテルのやり手起業家シリル・アイウゼラット氏が取り組む待望の「モブ・ホテル」が今年の3月、パリの郊外にオープンした。哲学者である同氏が描く21世紀の理想のホテル像とは。

取材・文 俵 麻呂 (在仏ジャーナリスト)
marotawara@orange.fr

時代のニーズの変化に迅速に対応する

● 「モブ・ホテル」のコンセプトは

コンセプトでというよりは、ホテルという空間を利用して、地域社会への貢献を目指す一種の社会運動です。ホテル内で、文化イベントやオーガニック食品市を定期的に開催するほか、さまざまな文化社会事業の支援活動を推進していきます。そして、「エアビーアンドビー」が世界のホテル業界をリードする時代を生き延びるホスピタリティ業の在り方を提案しています。

● 具体的には

まず、「エアビーアンドビー」の良さを取り入れて、時代のニーズの変化に迅速に対応できることです。例えば、ホテル内の無料WiFiはパリで最高品質です。また、客室にテレビを置かず、「iPad・Pro」を無料レンタルしています。クラス（フランスの最高級格付けホテル）並みのベッドと合わせて、ホテルに許可を取らなくても、宿泊者を追加できるようにエアベッドを設置してあります。旅行者の便宜を図って、チェックイン前とチェックアウト後に使用可能な有料の休憩室「エア・モブ」を開設しました。

旅行やビジネスのストレス対策としては、ホテル滞在中に静かに自分と向き合うためのメディテーションルームがあり、ヨガや気功教室も開催しています。

● 「ママ・シェルター」*との相違点は

「ママ・シェルター」は1990年代のアイデアで、「モブ・ホテル」は現在の社会文化状況に適応したホテルです。

● ホテルの客層は。

オープン後2週間の時点で、約6割がビジネス旅行者、その他は個人観光旅行者です。年齢は幅が広く、特殊な層の人たちのホテルではありません。

● パリ市外ですがアクセスは大丈夫ですか

シャルルドゴール空港に近くて、パリの中心から直通的な地下鉄とバスがあります。パリ市内のホテルとは全く異なる雰囲気、レストランは100%オーガニック。宿泊料もかなり割安なので、コーポレート契約の依頼もたくさん入っています。

スタッフのインテリジェンスと直観力を信頼する

● 人材のリクルートメントについて。



シリル・アイウゼラット氏

Photo by: fbouquillon

〈プロフィール〉48歳。フランス南部トゥールーズ生まれ。哲学博士。1997年仏大手不動産会社勤務。2008年デザインホテル「ママ・シェルター」をパリで成功させて、国際チェーンホテルに発展させる。11年ニューヨークでベジタリアンレストラン「MOB」をオープン。17年3月「MOB HOTEL」を創立オープンする。

* 「ママ・シェルター」

シリル・アイウゼラット氏が共同創業者として開発したフランスで人気のアーバンデザインホテル。2008年にパリで開始して、現在フランス国内と海外の都市に7件のホテルがある。14年からアコホテル・グループの傘下に入っている。

MOB HOTEL (モブ・ホテル)
住所: 46 RUE GAMBETTA 93400 ST-OUEN, FRANCE
Tel: 33(0)1-4700-7070
www.mobhotel.com
開業: 2017年3月
投資額: 1300万ユーロ
ホテル: 年中無休
客室数: 92室 (17~42㎡)
宿泊料: 89~159ユーロ
施設: 100%オーガニックレストラン、ライブラリー・バー、ブティック、ポップアップストア、「エア・モブ」(チェックイン前とチェックアウト後の有料休憩室)、メディテーションルーム、地元住民のための屋上有機菜園、文化社会事業のインキュベーターセンター、若手デザイナーのためのファッションスクール(2017年9月開設)

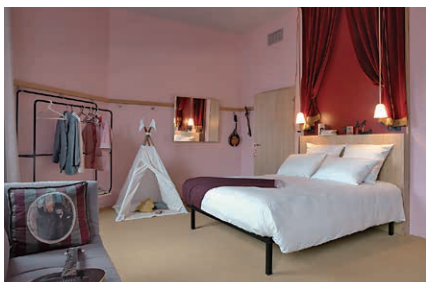
できる限り地元の人材を雇って、養成しています。特に社会・環境問題への意識が高く、その分野で経験がある人たちを選んでいきます。私自身が必要な時間を掛けて、面接しています。ホテル業界出身のスタッフは全体（約50人）の1割です。

●従来のホテル業のマニュアルは参考にされませんが。

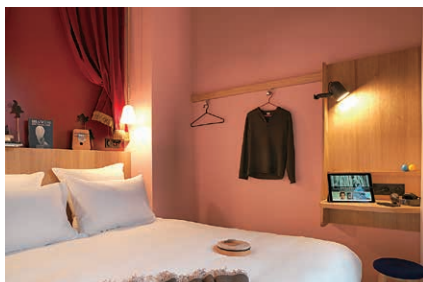
その種のもの、読まないようにしています。スタッフのインテリジェンスと直観力を信頼して、各自が臨機応変に対応するヒューマンなサービスを目指しています。

●今後の拡大予定は。

リヨン、ワシントンなど、欧州とアメリカで8軒の直営ホテルを開業します。その他の地域では、「地域社会への貢献」、「有機農業」、「優しさ」という価値観を分かち合う地元の企業との協同組合のかたちで、拡大していきたいと思っています。



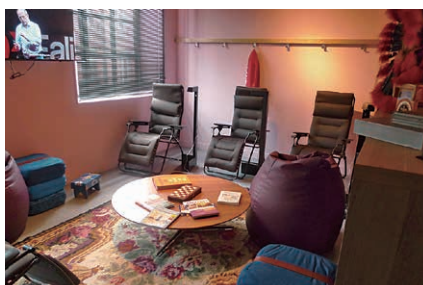
無駄を省いた機能的でモダンなデザインの客室。テラス付きの部屋（17部屋）の予約もできる
Photo by : Paul Bowyer



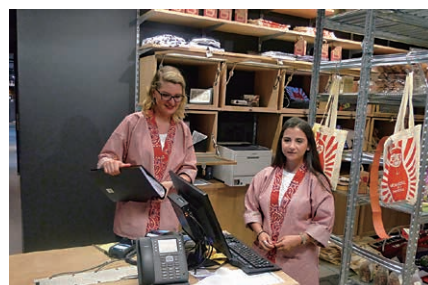
「モブ・ホテル」のロゴ付きバックに入っているエアークッション。全室に置いてあり、自由に家族や友人を泊めることができる
Photo by : fbouquillon



ホテルの中庭。屋外映画会やコンサートなどのイベントを定期的で開催される。毎週日曜日の朝は、オーガニック食品市場が開かれる
Photo by : fbouquillon



ホテルのゲストが。チェックイン前とチェックイン後に使える休憩室。使用料は1人29ユーロ。寛げるロングチェックイン、シャワー＆WC、子供用遊戯ルームがある
Photo by : fbouquillon



ホテルのブティック内にあるカジュアルな雰囲気のレストランのレジデンスデスク。半纏風のユニフォームは、オーナーのアイゼラット氏の日本への憧れから選んだそうだ
Photo by : fbouquillon



モダンで和気あいあいとした雰囲気を重視したレストラン。メニューは100%オーガニック。食材はできる限り生産者から直接購入している
Photo by : Paul Bowyer



Photo by : Bruno Comtesse



Photo by : fbouquillon

人気のオーガニックピザはピレネー山脈で栽培・製粉される特殊な小麦粉を使って、レストラン内にある大きな窯（3トン）でピザ職人が焼いている。



Photo by : Paul Bowyer